

ブロック塀等の安全点検はお済みですか？

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震では、ブロック塀の倒壊により、道路を通行中の児童が塀に挟まれて尊い命が奪われました。

これは絶対に忘れてはならない記憶の1つです。

このような被害を防ぐために、ブロック塀等の所有者や管理者の方々は、安全点検をお願いいたします。

① まずは、自己点検を！（裏面でチェック！）

○裏面のチェック表で簡単に自己点検ができます。

② 詳細は専門家にご相談を！

○自己点検で危険が確認された場合や、詳しく点検したい場合は、塀を造った施工業者や裏面の専門家にご相談ください。

自己点検スタート！

ステップ1 点検する塀はどちらですか？

A

ブロック塀

（補強コンクリートブロック造）

裏面 A 列へ

B

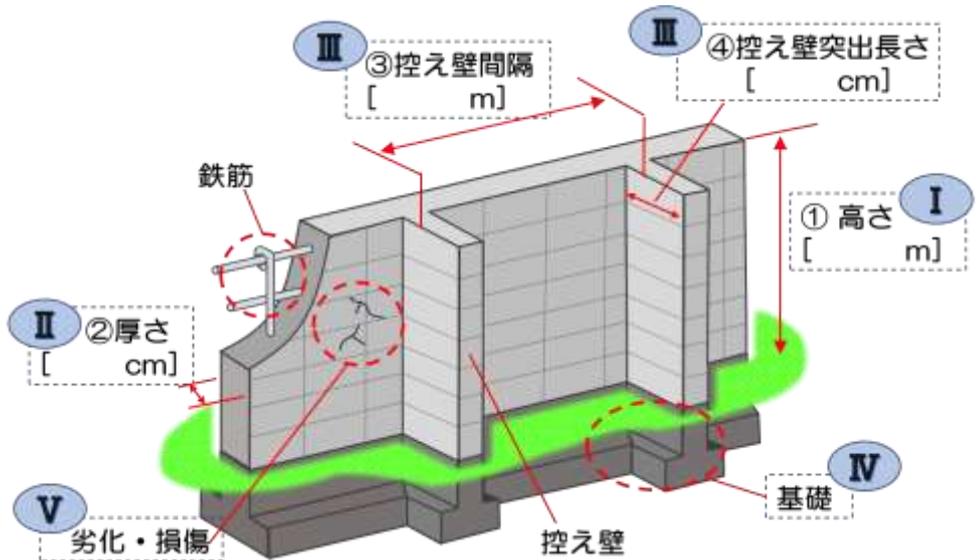
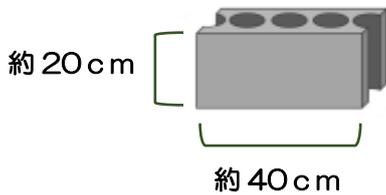
そせきぞう
組積造の塀

（石積み、レンガ積みなどの塀）

裏面 B 列へ

ステップ2 下図を参考に、①～④の寸法を測定します。
測定した寸法と外観を下の表で点検します。

【参考】ブロック塀の一般的な寸法
目安：6段積みで高さ1.2m
8列で長さ3.2m



【チェック表】

A

ブロック塀

こちらの列をチェック↓

B

そせきぞう
組積造の塀

こちらの列をチェック↓

I. 塀の高さ		①地面から 2.2m 以下	<input type="checkbox"/>	①地面から 1.2m以下	<input type="checkbox"/>
II. 塀の厚さ		②厚さ 10cm 以上（塀の高さが 2m を超える場合は 15cm 以上）	<input type="checkbox"/>	②厚さが次の値☆以上 計算：①高さ(m)×10=(☆ cm)	<input type="checkbox"/>
III. 控え壁	III-1. 控え壁不要 ↑どちらかの条件を満たす	塀の①高さが 1.2m以下	<input type="checkbox"/>	②厚さが次の値☆以上 計算：①高さ(m)×15=(☆ cm)	<input type="checkbox"/>
	III-2. 控え壁必要	塀の高さが 1.2mを超え、 ・③控え壁間隔が 3.4m 以下 ・④控え壁突出長さが次の値☆以上 計算：①高さ(m)×20=(☆ cm)	<input type="checkbox"/>	・③控え壁間隔が 4.0m 以下である ・④控え壁突出長さが次の値☆以上 計算：②厚さ(cm)×1.5=(☆ cm)	<input type="checkbox"/>
IV. 基礎		コンクリートの基礎がある	<input type="checkbox"/>	基礎がある	<input type="checkbox"/>
V. 劣化・損傷		傾いたり、一部ひび割れていない	<input type="checkbox"/>	傾いたり、一部ひび割れていない	<input type="checkbox"/>

結果判定

- すべての項目が となる → 現状では危険は少ないです。今後も観察を続けましょう。
なお、鉄筋等の精密な診断を行う場合は専門家に相談しましょう。
- ひとつでも とならない → **施工業者や下記の専門家に相談しましょう！**
危険が確認された場合は、速やかに補修・撤去等を行いましょう。

まずは、塀を造った施工業者への相談が第一です。それでも不明な場合は下記の専門家へご相談ください。

・(一社) 埼玉県建築士事務所協会 TEL:048-864-9313 ・(一社) 埼玉建築士会 TEL:048-861-8221